

お盆期間中の緊急対応を

感染リスクを下げるために次のことが重要です

1 人とできるだけ会わないようにする

新型コロナウイルスは人から人に感染します。やむを得ない場合でも、**少人数、短時間で会う**ことを心がけてください。また、混雑している場所も避けましょう。

2 帰省や県外への訪問は控える

全国で感染者が急増し、東京を中心とする大都市圏では本県とは桁違いに多くの陽性者が出て、病床逼迫度も増しています。**県外往来に起因すると考えられる陽性者が県内でも増加**しており、**帰省（県外から、県外へ）や旅行、出張などは控える**ことが重要です。

3 感染防止対策をより厳格に行う（参考：別添「デルタ株を意識し適切な対策を」）

リスクが高い行動を必ずしもされていない方も感染しています。デルタ株はこれまで以上に感染力が強く、従来の対策だけで十分とは限りません。「**飛沫感染**」「**エアロゾル感染**」「**接触感染**」を意識して、基本的な**感染防止対策を今まで以上に厳格に行う**ことが大切です。

4 体調がすぐれない時はすぐ医療機関に相談する

医療機関にかかることをためらったが故に重症化された方もいらっしゃいます。体調が悪い時は医療機関または保健所にご相談いただき、早期の検査と治療を行うことが、重症化を防ぎ、感染拡大を防ぐことにつながります。

私たちの大切な命と暮らしを守るためには、新型コロナ「デルタ株」の拡大を今、食い止めなければなりません。新型コロナに感染しない、他者に感染させない、感染を広げないという強い思いを共有いただき、ご協力いただくようお願い申し上げます。

新型コロナの危険度が、過去最大に高まっています

—— お盆期間中は、デルタ株を意識した感染対策強化を ——

- 県内の新型コロナウイルスは、感染力が強く重症化リスクが高い L452R 変異株（デルタ株等）が完全に中心に

L452R変異株（デルタ株等）スクリーニング検査の状況

期間	届出患者数 ①	スクリーニング 検査実施数②	L452R変異株 陽性者数③	検査実施率 (②/①)	L452R変異株 陽性率 (③/②)
7/19~7/25	60	53	34	88.3%	64.2%
7/26~8/1	221	169	129	76.5%	76.3%
8/2~8/8	365	202	167	55.3%	82.7%

- 一日の新規陽性者数が過去最高を更新

8月12日発表数 84人（全国の新規陽性者数も過去最高を更新）

- 医療警報発表後も療養者が増加
- 50歳代以下の酸素吸入が必要な中等症者が急増

確保病床利用率

7月11日 5.3%

8月6日 28.0%（医療警報発出時）

8月11日 36.1%

1か月前から30.8pt、医療警報後に8.1pt増加

第5波では、40-50代の陽性者の中等症割合が約21%、20-30代も約7%に

- 今後、感染者が急拡大する
可能性大

これまでも普段会わない人に接する機会の増える時期（年末年始、大型連休）の後に陽性者が増加

第2波 (令和2年お盆)		第3波 (年末年始)	
8月2週目	13人	12月4週目	79人
8月3週目	17人	1月1週目	131人
8月4週目	34人	1月2週目	422人
8月5週目	73人	1月3週目	332人

